

管内報道機関との定例懇談会（9月）

日時：令和8年9月2日（水）13時30分

場所：久慈地区合同庁舎4階第1会議室

次 第

- 1 開会
- 2 説明事項
- 3 懇談
- 4 閉会

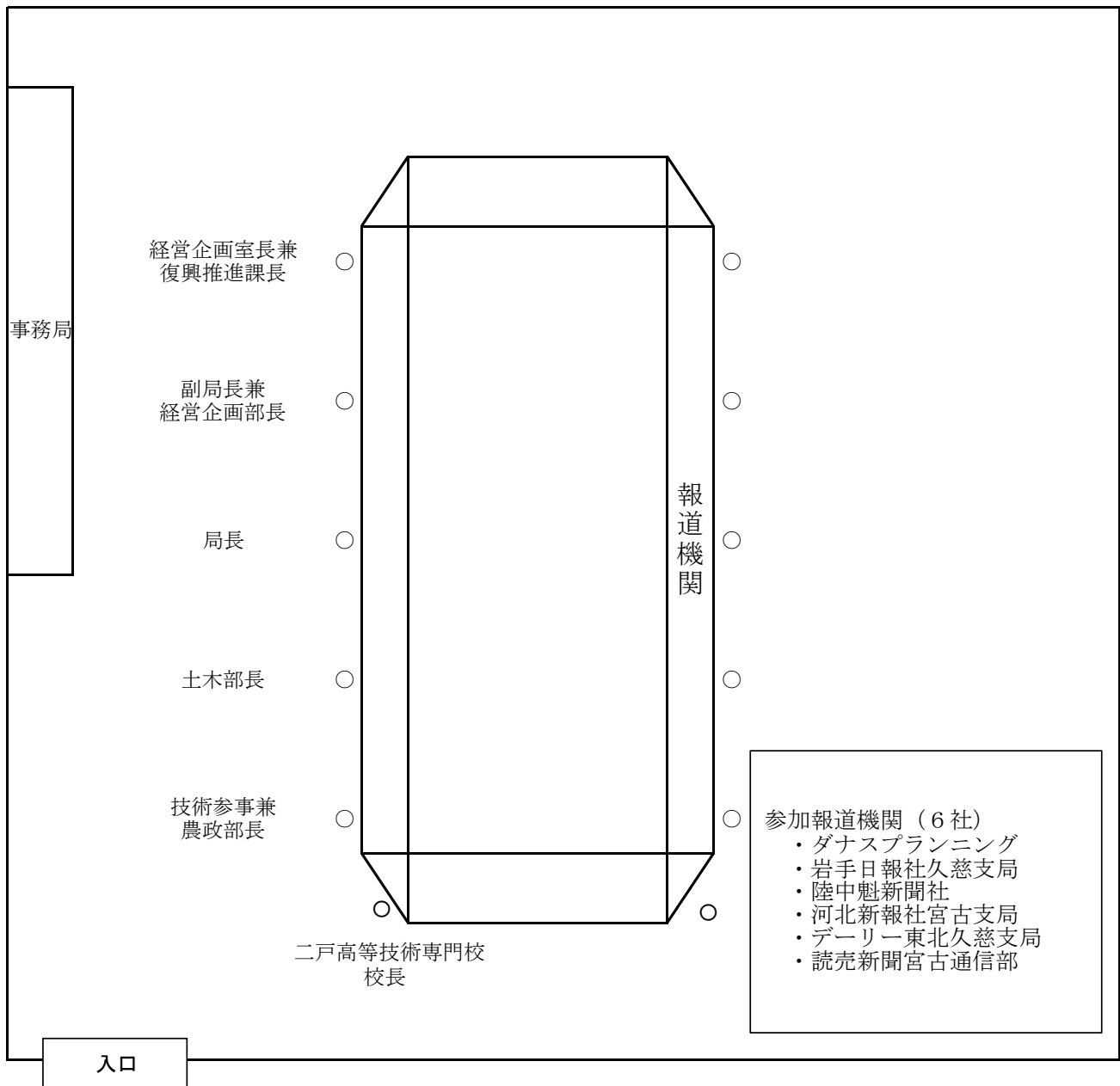
（進行：副局長兼経営企画部長）

※ 次回の開催予定

日時：令和8年10月1日（木）13時30分

場所：久慈地区合同庁舎4階第1会議室

座席表



管内報道機関との定例懇談会（9月）資料

【説明事項】

	項目	担当部	ポイント	ページ
1	高校生・大学生を対象とした畜産業インターンシップの開催について	農政部	久慈地域の畜産業を支える人材の確保に向けて、畜産業のインターンシップを開催いたしますのでお知らせします。	4
2	第21回若年者ものづくり競技大会 県立二戸高等技術専門校生が銀賞並びに銅賞受賞	二戸高等技術専門校	本校学生が第21回若年者ものづくり大会において、銀賞並びに銅賞に入賞しましたのでお知らせします。	5～7
3	入校生の募集について（県立二戸高等技術専門校「令和9年度入校生推薦選考募集」）	二戸高等技術専門校	自動車システム科及び建築科の令和9年度入校生の推薦選考を行いますのでお知らせします。	8～17

【懇談内容】

- 県北広域振興局土木部の主要事業について
 - 令和8年度岩手県県北広域振興局土木部 業務概要 18～41
 - 県北広域振興局土木部の主要事業 42～51
 - 高校生を対象とした橋梁協働点検及び工事現場見学会を開催します！ 52

【その他配付資料】

- 月間行事予定表（令和8年9月～10月前半） 53

説明項目 1	高校生・大学生を対象とした畜産業インターンシップの開催について (農政部)
--------	--

【概要】

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、久慈地域の畜産業を支える人材の確保に向けて、令和6年度から畜産業のインターンシップに取り組んでいます。今年度第2回目となる今回は、大学生を対象に実施するもので、初めて獣医学部の学生も参加します。

是非、取材いただきますようお願いいたします。

1 久慈地域畜産業インターンシップ (第2回目)

(1) 日時

令和8年9月10日(木) 13時～ 11日(金) 14時

月 日	時 間	内 容
9月10日 (木)	13:00	集合
	13:50～15:00	【視察研修】株式会社 久慈平岳牧場
	15:15～17:15	【懇談】久慈地域の畜産業説明、家畜診療所見学・懇談
9月11日 (金)	【作業体験】久慈市基幹牧場で作業体験 9:00～12:00 ～日本短角種の衛生検査の手伝いや去勢見学～ ★取材OK	
	12:00～13:20	昼食・地域産業動物獣医師と懇談(久慈市基幹牧場) ★取材OK
	14:00	解散

※久慈市基幹牧場：久慈市山形町荷軽部第7地割31番地9

(2) 主催

久慈地方農業農村活性化推進協議会(会長：中平均 久慈市長)

(3) 参加者

6名(岩手大学獣医学部2名、農学部4名)

(4) 内容・場所

- ・視察研修：(株)久慈平岳牧場(県内最大級の酪農経営体)
- ・作業体験：久慈市基幹牧場で日本短角牛への薬剤塗布などの衛生管理
- ・久慈地域で開業している産業動物獣医師との懇談

(5) 取材について

取材は、9月11日(金)のみ可能です。取材を希望される場合は、防疫上必要な資材を準備しますので、事前に御連絡ください。

【問い合わせ先】

久慈地方農業農村活性化推進協議会事務局(県北広域振興局農政部)

電話番号：0194-66-9675

担当：農政部農業振興課 高杉
電話：0194-66-9675 内線 223

説明項目 2	第 21 回若年者ものづくり競技大会 県立二戸高等技術専門校生が銀賞並びに銅賞入賞 (県立二戸高等技術専門校)
--------	--

【概要】

県立二戸高等技術専門校の学生が、去る8月1日(土)～8月2日(日)、富山県で開催された第21回若年者ものづくり競技大会に出場し、建築大工職種において銀賞に、自動車整備職種において銅賞に入賞しましたのでお知らせします。

本校の学生による入賞は、12年連続(コロナ禍により中止となった第15回大会を除く)となります。

なお、入賞者への表彰状伝達式は、9月8日(火)13時から行いますので、取材をよろしくをお願いします。

- 1 主催 厚生労働省及び中央職業能力開発協会
- 2 後援 文部科学省、経済産業省、国土交通省、富山県ほか
- 3 日程 令和8年8月1日(土)～8月2日(日)
- 4 競技会場
 - (1) 自動車整備職種 富山産業展示館(テクノホール)
 - (2) 建築大工職種 富山県産業創造センター(高岡テクノドーム)
- 5 競技職種
自動車整備、建築大工ほか全15職種
- 6 県立二戸高等技術専門校選手の成績
 - (1) 建築大工職種
銀賞：建築科2年 小林 遥仁(こばやし はると)〔伊保内高校卒、二戸市出身〕
(銀賞は全国で3名)
 - (2) 自動車整備職種
銅賞：自動車システム科2年 若狭 吾侑(わかさ ごう)〔久慈東高校卒、久慈市出身〕
(銅賞は全国で2名)
- 7 表彰状伝達式
 - (1) 日時 令和8年9月8日(火) 13時から13時30分まで
 - (2) 会場 二戸高等技術専門校 3階 視聴覚室(二戸市石切所字上野々92-1)
 - (3) 内容
 - ア 校長挨拶
 - イ 賞状伝達及びお祝いの言葉
岩手県職業能力開発協会 専務事務 鈴木 一史(すずき かずし)
 - ウ 入賞選手報告

※競技大会の写真は、別添のとおり

【若年者ものづくり競技大会とは】

企業等に就業しておらず、職業能力開発施設、工業高等学校等において、技能を習得中の原則 20 歳以下の若年者を対象として開催されるもので、若年者に技能習得の目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として開催されています。

【参考：若年者ものづくり競技大会入賞者数】

区 分	会場	自動車整備職種						建築大工職種					
		参加 選手 数	本校受賞者数					参加 選手 数	本校受賞者数				
			金賞	銀賞	銅賞	敢闘賞	特別賞		金賞	銀賞	銅賞	敢闘賞	特別賞
第 21 回（令 8）	富山	13			1			28		1			
第 20 回（令 7）	香川	15	1					33		1			
第 19 回（令 6）	群馬	18		1				34			1		
第 18 回（令 5）	静岡	17		1				32					
第 17 回（令 4）	広島	17				1		30					
第 16 回（令 3）	愛媛	15						24				1	
第 15 回（令 2）	新型コロナウイルス感染拡大状況を勘案し、中止												
第 14 回（令元）	福岡	26				2		51		1		1	
第 13 回（平 30）	石川・愛知	24				1		44				2	
第 12 回（平 29）	愛知	24		1	1			44				1	
第 11 回（平 28）	栃木・沖縄	15				1		34			1		
第 10 回（平 27）	山形・滋賀	14						49		1		1	
第 9 回（平 26）	山形・滋賀・茨城	16					1	47				2	
第 8 回（平 25）	岩手・滋賀・茨城	16						38					

※自動車整備職種は第 8 回から、建築大工職種は第 7 回から参加

担当：県立二戸高等技術専門校
 校長 千葉 文彦、校長補佐 山崎 達也
 電話：0195-23-2227

【別紙】

【建築大工職種に出場し銀賞に入賞した 小林 遥仁 選手】



【自動車整備職種に出場し銅賞に入賞した 若狭 吾侑 選手】



説明項目 3	入校生の募集について (県立二戸高等技術専門校「令和9年度入校生推薦選考募集」) (二戸高等技術専門校)
--------	---

【概要】

未来の匠を育てる県立二戸高等技術専門校では、自動車システム科（定員20名）及び建築科（定員15名）の令和9年度入校生の推薦選考を次のとおり行います。

車と住まいを支えるプロフェッショナルとしての「自動車整備士」、「建築大工」となる力を2年で身に付けることができます。

また、若年者ものづくり競技大会に出場・入賞や技能五輪全国大会にも出場しているほか、令和7年度修了生の就職率は100%と抜群の就職実績を誇っています。

1 募集人数

定員（自動車システム科20名、建築科15名）の3分の2程度を推薦選考で募集

2 応募資格

令和9年3月に高等学校を卒業する見込の者で、志望する科に対する理解と強い目的意識を有し、学業・人物ともに優秀であるとして学校長が推薦した者。

3 選考日程

(1) 出願期間：令和8年9月16日(水)から10月2日(金)まで（当日17時必着）

(2) 試験日：令和8年10月16日(金)

(3) 合格発表：令和8年10月23日(金)

4 選考試験

県立二戸高等技術専門校において、筆記試験（国語、数学）及び面接

担当：県立二戸高等技術専門校
 校長 千葉 文彦、校長補佐 山崎 達也
 電話：0195-23-2227

令和9年度入校生募集要項

岩手県立職業能力開発校

岩手県立千厩高等技術専門校

普通課程 自動車システム科

岩手県立宮古高等技術専門校

普通課程 自動車システム科・金型技術科

岩手県立二戸高等技術専門校

普通課程 自動車システム科・建築科

募集内容

【入校時期】

令和9年4月

【募集科及び入校定員】

普通課程（高等学校卒業者等のコース）			
校 名	訓練科名	定 員	訓練期間
千厩高等技術専門学校	自動車システム科	20名	2年
宮古高等技術専門学校	自動車システム科	15名	2年
	金型技術科	10名	1年
二戸高等技術専門学校	自動車システム科	20名	2年
	建築科	15名	2年

【出願期間及び試験日等日程】

推薦選考		
願書受付	試験日	合格発表
令和8年 9月16日（水）から 令和8年10月 2日（金）まで （当日午後5時必着）	令和8年10月16日（金）	令和8年10月23日（金）

一般選考（前期）		
願書受付	試験日	合格発表
令和8年11月16日（月）から 令和8年11月27日（金）まで （当日午後5時必着）	令和8年12月11日（金）	令和8年12月18日（金）

一般選考（後期）		
願書受付	試験日	合格発表
令和9年1月12日（火）から 令和9年1月22日（金）まで （当日午後5時必着）	令和9年 2月 5日（金）	令和9年 2月15日（月）

【出願について】

- （1） 推薦選考に合格しなかった者は、改めて一般選考に出願することができます。また、一般選考（前期）に合格しなかった者は、改めて一般選考（後期）に出願することができます。推薦選考の第1から第3志望のいずれかに合格した者は、一般選考（前期）に出願することはできません。
また、一般選考（後期）については、推薦選考又は一般選考（前期）の第1から第3志望のいずれかに合格した者は、出願することはできません。
- （2） 推薦選考及び一般選考については、第2及び第3志望まで認めています。第2及び第3志望科は校を問わず志望できます。
- （3） 下記のいずれかの災害により甚大な被害を受けたと認められた者については、岩手県収入証紙を貼付せず、入校検定料免除申請書（別紙様式）を添付することで、入校検定料が免除となる場合があります。
 - ① 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波
 - ② 令和7年2月26日に発生した強風による災害（大船渡林野火災）

推薦選考

1 募集科及び募集人員（推薦選考）

校 名	訓練科名	訓練期間	定 員	募集定員
千厩高等技術専門学校	自動車システム科	2 年	2 0 名	定員の3分の2程度を推薦選考で募集
宮古高等技術専門学校	自動車システム科	2 年	1 5 名	
	金型技術科	1 年	1 0 名	
二戸高等技術専門学校	自動車システム科	2 年	2 0 名	
	建築科	2 年	1 5 名	

2 出願資格

令和9年3月に高等学校を卒業する見込の者で、志望する科に対する理解と強い目的意識を有し、学業・人物ともに優秀であるとして、学校長が推薦した者。

3 出願手続

(1) 出願書類

提出書類等	摘 要
入校願書 A・受験票	(1) 出願前3か月以内に撮影した写真を貼付してください。 (正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm) (2) 入校検定料として岩手県収入証紙(2,200円分)※を貼付してください。 ※ 下記のいずれかの災害により甚大な被害を受けたと認められた者については、岩手県収入証紙を貼付せず、入校検定料免除申請書(別紙様式)を添付することで、入校検定料が免除となる場合があります。 ① 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波 ② 令和7年2月26日に発生した強風による災害(大船渡林野火災)
身上調書	所定の用紙に記入してください。
調査書	学校長が証明し厳封したものを提出してください(開封無効)。
健康診断書	令和9年3月高等学校卒業見込みの者は定期健康診断書等の写しを提出してください。 それ以外の者は、所定の用紙を用いてください。
推薦書	所定の用紙に学校長が証明し厳封したものを提出してください(開封無効)。
入校確約書	所定の用紙に記入してください。 なお、第2及び第3志望の科がある場合、それぞれの科について記入してください。
受験票送付用封筒	定型封筒(長形3号)に、出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し、 460円分の切手(基本料金110円+簡易書留料金350円) を貼付してください。
入校願書 B	第2及び第3志望の科がある場合のみ記入してください。

※岩手県収入証紙は、県合同庁舎売店、市町村役場等で購入できます。なお、消印はしないでください。

収入証紙販売所は、岩手県庁ホームページを参照してください。

(<https://www.pref.iwate.jp/kensei/tetsuzuki/shoushi/1012326.html>)

(2) 出願方法

ア 出願書類は、すべて第1志望で入校を希望する職業能力開発校に提出してください。

イ 郵送の場合は、封筒に「入校願書在中」と朱書きして書留又は簡易書留で送付してください。

ウ 持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までです。

※ 出願書類の願書様式等は、ホームページからダウンロードした様式を印刷・記入して出願することが可能です。

(3) 受験票の交付

受験票は、入校願書を受理した後、出願者に郵送します。

(4) 出願上の注意事項

ア 一度受理した書類及び入校検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 提出書類に虚偽の記載をした場合又は虚偽の書類を提出した場合は、合格後であっても合格を取り消すことがあります。

4 選考試験

(1) 選考場所

第1志望で入校を希望する職業能力開発校

(2) 選考時間

筆記試験 午前10時～11時(60分)、面接 午前11時20分～

(3) 選考方法

筆記試験（国語、数学）及び面接

※ 筆記試験は、それぞれ現代の国語、数学Ⅰまでの範囲から出題します。

一般選考（前期）

1 募集科及び募集人員（一般選考（前期））

校 名	訓練科名	訓練期間	定 員	募集定員
千厩高等技術専門学校	自動車システム科	2 年	2 0 名	定員の3分の1程度を 一般選考で募集
宮古高等技術専門学校	自動車システム科	2 年	1 5 名	
	金型技術科	1 年	1 0 名	
二戸高等技術専門学校	自動車システム科	2 年	2 0 名	
	建築科	2 年	1 5 名	

2 出願資格

高等学校を卒業した者（令和9年3月卒業見込の者を含む。）又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者。

3 出願手続

(1) 出願書類

提出書類等	摘 要
入校願書A・受験票	(1) 出願前3か月以内に撮影した写真を貼付してください。 (正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm) (2) 入校検定料として岩手県収入証紙(2,200円分)※を貼付してください。 ※ 下記のいずれかの災害により甚大な被害を受けたと認められた者については、岩手県収入証紙を貼付せず、入校検定料免除申請書(別紙様式)を添付することで、入校検定料が免除となる場合があります。 ① 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波 ② 令和7年2月26日に発生した強風による災害(大船渡林野火災)
身上調査書	所定の用紙に記入してください。
調査書	(1) 最終卒業(見込みを含む。)学校長が証明し厳封したものを提出してください(開封無効)。 なお、次の①から③のいずれかに該当する場合は、卒業証明書及び単位修得証明書又は成績通信簿の写し(本人が保管している場合)等、出願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。 ① 「指導に関する記録」が保存年限(5年)を超えている場合。 ② 指導要録の保存年限(20年)を超えている場合。 ③ 廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合。 (2) 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定を含む。)合格者にあつては、合格証明書と合格成績証明書でこれに代えることができます(開封無効)。 なお、一部の科目を高等学校等で修得している者は、合格成績証明書に加え、在学期間中の調査書又は成績証明書も提出してください。
健康診断書	令和9年3月高等学校卒業見込みの者は定期健康診断書等の写しを提出してください。 それ以外の者は、所定の用紙を用いてください。
受験票送付用封筒	定型封筒(長形3号)に、出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し、 460円分の切手(基本料金110円+簡易書留料金350円) を貼付してください。
入校願書B	第2及び第3志望の科がある場合のみ記入してください。

※岩手県収入証紙は、県合同庁舎売店、市町村役場等で購入できます。なお、消印はしないでください。

収入証紙販売所は、岩手県庁ホームページを参照してください。

(<https://www.pref.iwate.jp/kensei/tetsuzuki/shoushi/1012326.html>)

(2) 出願方法

ア 出願書類は、すべて第1志望で入校を希望する職業能力開発校に提出してください。

イ 郵送の場合は、封筒に「入校願書在中」と朱書きして書留又は簡易書留で送付してください。

ウ 持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までです。

※ 出願書類の願書様式等は、ホームページからダウンロードした様式を印刷・記入して出願することが可能です。

(3) 受験票の交付

受験票は、入校願書を受理した後、出願者に郵送します。

(4) 出願上の注意事項

ア 一度受理した書類及び入校検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 提出書類に虚偽の記載をした場合又は虚偽の書類を提出した場合は、合格後であっても合格を取り消すことがあります。

4 選考試験

(1) 選考場所

第1志望で入校を希望する職業能力開発校

(2) 選考時間

筆記試験 午前10時～11時30分(90分)、面接 午前11時50分～

(3) 選考方法

筆記試験(国語、数学)及び面接

※ 筆記試験は、それぞれ現代の国語、数学Ⅰまでの範囲から出題します。

一般選考(後期)

1 募集科及び募集人員(一般選考(後期))

校名	訓練科名	訓練期間	募集定員
千厩高等技術専門校	自動車システム科	2年	募集対象科及び募集定員については、一般選考(前期)合格発表日以降にホームページで公表します。
宮古高等技術専門校	自動車システム科	2年	
	金型技術科	1年	
二戸高等技術専門校	自動車システム科	2年	
	建築科	2年	

2 出願資格

高等学校を卒業した者(令和9年3月卒業見込の者を含む。)又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者。

3 出願手続

(1) 出願書類

提出書類等	摘 要
入校願書A・受験票	(1) 出願前3か月以内に撮影した写真を貼付してください。 (正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm) (2) 入校検定料として岩手県収入証紙(2,200円分)※を貼付してください。 ※ 今年度、岩手県立職業能力開発校の一般選考(前期)を受験した者は、入校検定料は不要です。一般選考(前期)の受験票の写しを添付してください。 ※ 下記のいずれかの災害により甚大な被害を受けたと認められた者については、岩手県収入証紙を貼付せず、入校検定料免除申請書(別紙様式)を添付することで、入校検定料が免除となる場合があります。 ① 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波 ② 令和7年2月26日に発生した強風による災害(大船渡林野火災)
身上調査書	所定の用紙に記入してください。
調査書	(1) 最終卒業(見込みを含む。)学校長が証明し厳封したものを提出してください(開封無効)。 なお、次の①から③のいずれかに該当する場合は、卒業証明書及び単位修得証明書又は成績通信簿の写し(本人が保管している場合)等、出願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。 ① 「指導に関する記録」が保存年限(5年)を超えている場合。 ② 指導要録の保存年限(20年)を超えている場合。 ③ 廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合。 (2) 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定を含む。)合格者にあつては、合格証明書と合格成績証明書でこれに代えることができます(開封無効)。 なお、一部の科目を高等学校等で修得している者は、合格成績証明書に加え、在学期間中の調査書又は成績証明書も提出してください。
健康診断書	令和9年3月高等学校卒業見込みの者は定期健康診断書等の写しを提出してください。 それ以外の者は、所定の用紙を用いてください。
受験票送付用封筒	定型封筒(長形3号)に、出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し、 460円分の切手(基本料金110円+簡易書留料金350円) を貼付してください。
入校願書B	第2及び第3志望の科がある場合のみ記入してください。 ただし、募集対象科に限りません。

※岩手県収入証紙は、県合同庁舎売店、市町村役場等で購入できます。なお、消印はしないでください。

収入証紙販売所は、岩手県庁ホームページを参照してください。

(<https://www.pref.iwate.jp/kensei/tetsuzuki/shoushi/1012326.html>)

(2) 出願方法

ア 出願書類は、すべて第1志望で入校を希望する職業能力開発校に提出してください。

イ 郵送の場合は、封筒に「入校願書在中」と朱書きして書留又は簡易書留で送付してください。

ウ 持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までです。

※ 出願書類の願書様式等は、ホームページからダウンロードした様式を印刷・記入して出願することが可能です。

(3) 受験票の交付

受験票は、入校願書を受理した後、出願者に郵送します。

(4) 出願上の注意事項

ア 一度受理した書類及び入校検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 提出書類に虚偽の記載をした場合又は虚偽の書類を提出した場合は、合格後であっても合格を取り消すことがあります。

4 選考試験

(1) 選考場所

第1志望で入校を希望する職業能力開発校

(2) 選考時間

筆記試験 午前10時～11時30分(90分)、面接 午前11時50分～

(3) 選考方法

筆記試験(国語、数学)及び面接

※ 筆記試験は、それぞれ現代の国語、数学Ⅰまでの範囲から出題します。

選考試験受験上の注意事項

- 1 自然災害、悪天候等により指定時刻までに試験会場に到着できない場合は、第1志望で入校を希望する職業能力開発校まで連絡してください。
- 2 受験票、筆記用具を持参してください。
- 3 試験中は、受験票、鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、時計(※)以外の物を机の上に置くことができません。また、携帯電話等は電源スイッチを切り、試験が終了するまでカバン等に収納してください。
なお、試験時間中にかばんの中でこれらの機器の着信音や振動音などが発生した場合には、監督員が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、当該試験時間終了まで保管します。
(試験開始前における取扱いについては、監督員の指示に従ってください。)
※ 辞書や電卓等の機能があるもの、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)やそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものを除く。
- 4 試験開始後30分未満の遅刻は、受験を認めます。ただし、試験時間の延長はしません。
- 5 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。
- 6 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に罹患し治療していない場合は、他の受験者や監督員等への感染のおそれがありますので、原則として受験を御遠慮願います。ただし、症状により学校医その他の医師において、感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。
- 7 次のことをすると不正行為となることがあります。
不正行為と認められた場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以降の受験はできなくなります。
また、当該年度における当校のすべての入学試験の結果を無効とするとともに、当該年度における当校のすべての入学試験の受験を認めません。
ア 入校願書、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等)をすること。
イ カンニングをすること(カンニングペーパー、参考書、他の受験者の解答用紙等を見ること。他の受験者から答えを教わること等)。
ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
エ 問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
オ 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
カ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

- キ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ク 試験時間中に携帯電話等の電子機器類を身に付けていること。
- 8 上記7以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記7と同様です。
- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 建物内において携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- エ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- オ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- カ 試験会場において監督者等の指示に従わないこと。
- キ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- 9 自然災害や不測の事態等により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると判断した場合、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害について責任を負いません。これらの対応措置を講じる場合は、岩手県ホームページ等でお知らせしますので、確認してください。

選考結果

1 合格発表

合格の発表は、次のとおり行います。

- ア 推薦選考については、受験者及び学校長あて文書で可否の通知をします。
- イ 一般選考については、受験者あて文書で可否の通知をします。
- ※ なお、可否の通知について、第2・第3志望のある受験者が、第1志望不合格の場合は、第2志望の訓練科の校より、また、第1・第2志望不合格の場合は、第3志望の訓練科のある校より、可否の通知をします。
- ウ 合格者の受験番号については、推薦・一般選考ともに、合格発表日の午前10時に、各職業能力開発校に掲示します。また、参考情報として合格発表日の午前10時30分以降に、岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

2 試験結果提供の請求

個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に基づき、次のとおり口頭又は閲覧による試験結果提供の請求を行うことができます。

- ア 提供内容
筆記試験の科目別得点及び面接評定
- イ 請求の受付期間
合格発表の日から1か月間
〔推薦選考〕
令和8年10月23日（金）～令和8年11月24日（火）
〔一般選考（前期）〕
令和8年12月18日（金）～令和9年1月18日（月）
〔一般選考（後期）〕
令和9年2月15日（月）～令和9年3月15日（月）
- ウ 請求の受付時間
午前9時から午後4時30分まで（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）
ただし、合格発表日は午前10時から午後4時30分まで
- エ 請求の受付場所
受験した職業能力開発校
- オ 請求方法
受験票及び学生証等本人の顔写真が貼付された書類を提示して、請求をしてください。請求できる者は、受験生本人に限ります。

1 在校経費

・入校料

5,650円（令和8年度入校生）

・授業料

118,800円（年額・令和8年度入校生）

※ 納付方法

1年を第1期、第2期、第3期の3回に分けて納付します。納付時期は、第1期が4月、第2期は8月、第3期は12月です。

・諸経費

入校時には、上記のほかに教科書、作業服、資格試験、各種工具類、任意加入保険（訓練災害保険）等の費用が必要となります。

（金額は年額・令和8年度予定）

	1年次	2年次
自動車システム科	約21万円	約15万円
金型技術科	約10万円	—
建築科	約15万円	約22万円

2 学生寮

自宅からの通学が困難な学生のために、学生寮があります。

（金額は令和8年度予定）

施設名	千厩高等技術専門校	宮古高等技術専門校	二戸高等技術専門校
定員	23人	18人	40人
寄宿舎料(月額)	700円	700円	1,000円
光熱費等(月額)	8,300円	15,000円	15,000円
食費	日額1,400円 月額20,000円程度（平均）	日額1,240円 月額18,500円程度（平均）	日額1,240円 月額18,500円程度（平均）

※ 食費・光熱費等食事の回数や電気使用料等によって変わる場合があります。

3 公的融資制度

経済的な理由により就学が困難な者には、次の公的融資制度があります。

- ・ 技能者育成資金〔窓口：在校する職業能力開発校〕
- ・ 生活福祉資金（福祉資金 福祉費）〔窓口：最寄の市町村社会福祉協議会〕
- ・ 母子父子寡婦福祉資金（修業資金、技能習得資金）〔窓口：最寄の広域振興局〕
- ・ 教育一般貸付（国の教育ローン）〔窓口：日本政策金融公庫のホームページ又は各支店〕

4 授業料等の免除

- ・ 経済的理由によって授業料、入校料の納付が困難であると認められる者又は生計維持者の扶養する子等が3人以上である多子世帯と認められる者は、授業料、入校料の全部又は一部が免除となる場合があります。
- ・ 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波や令和7年2月26日に発生した強風による災害（大船渡林野火災）により甚大な被害を受けたと認められる者は、授業料、入校料、寄宿舎料の全部又は一部が免除となる場合があります。

5 その他

- ・ 鉄道やバスによる通学者の通学定期や旅客運賃に学生割引が適用されます。
- ・ 訓練中や通学途上の事故等には、「災害見舞金制度」の適用が受けられる場合があります。
- ・ 国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」の対象となります。（市町村への届出が必要となります。）
- ・ 公共職業安定所長の受講指示により入校する者は、訓練期間中に雇用保険又は訓練受講手当等が支給されます。受講指示については、応募の前に最寄の公共職業安定所に求職申込みのうえ御相談ください。

高等技術専門校等一覧

●高等技術専門校

○千厩高等技術専門校

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字神ノ田60-1
TEL 0191-52-2125 FAX 0191-53-2598

○宮古高等技術専門校

〒027-0037 岩手県宮古市松山8-29-3
TEL 0193-62-5606 FAX 0193-64-6596

○二戸高等技術専門校

〒028-6103 岩手県二戸市石切所字上野々92-1
TEL 0195-23-2227 FAX 0195-23-9081

●公共職業安定所（ハローワーク）

○ハローワーク盛岡

〒020-0885 盛岡市紺屋町7-26 TEL 019-651-8811

○ハローワーク沼宮内

〒028-4301 岩手郡岩手町大字沼宮内7-11-3 TEL 0195-62-2139

○ハローワーク釜石

〒026-0043 釜石市新町6-55 TEL 0193-23-8609

○ハローワーク遠野

〒028-0524 遠野市新町2-7 TEL 0198-62-2842

○ハローワーク宮古

〒027-0038 宮古市小山田1-1-1 TEL 0193-63-8609

○ハローワーク花巻

〒025-0076 花巻市城内9-27 TEL 0198-23-5118

○ハローワーク一関

〒021-0026 一関市山目字前田13-3 TEL 0191-23-4135

○ハローワーク水沢

〒023-8502 奥州市水沢東中通り1-5-35 TEL 0197-24-8609

○ハローワーク北上

〒024-0091 北上市大曲町5-17 TEL 0197-63-3314

○ハローワーク大船渡

〒022-0002 大船渡市大船渡町字赤沢17-3 TEL 0192-27-4165

○ハローワーク二戸

〒028-6103 二戸市石切所字荷渡6-1 TEL 0195-23-3341

○ハローワーク久慈

〒028-0051 久慈市川崎町2-15 TEL 0194-53-3374

●岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室

〒020-8570 盛岡市内丸10-1

TEL 019-629-5583

FAX 019-629-5589

詳しくは、定住推進・雇用労働室ホームページを
御覧ください

岩手県 職業能力開発施設

検索

URL <https://www.pref.iwate.jp/>



令和8年度

岩手県県北広域振興局土木部

業務概要



久慈川水系長内川・小屋畑川(久慈市) (令和8年5月撮影、河道付替・橋梁工) P15 参照

【県北広域振興局土木部公式 Instagram】



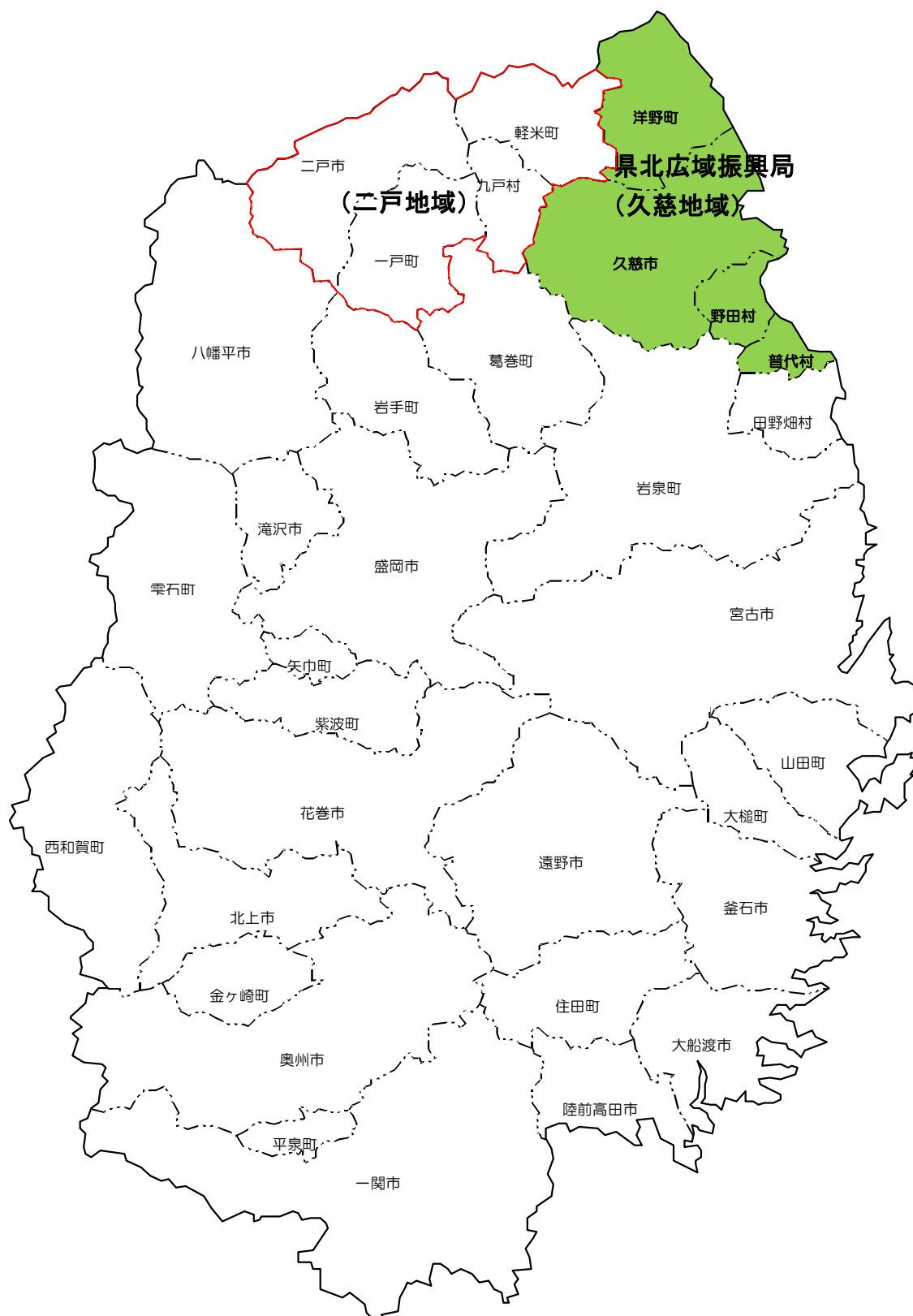
業務概要 目次

位置		1
概況		2
沿革		3
行政組織の概要		4

業務内容

土木技術企画グループ		6
管 理 課		7
用 地 課		8
道 路 整 備 課		9
河 川 港 湾 課		15
建 築 指 導 課		18
滝ダム管理事務所		19

1 位 置



2 概 況

県北広域振興局は岩手県北部の久慈市、二戸市を中心とする2市3町3村を担当しており、土木部は久慈地域の久慈市、九戸郡洋野町、九戸郡野田村、下閉伊郡普代村の1市1町2村を、二戸土木センターは二戸地域の二戸市、二戸郡一戸町、九戸郡軽米町、九戸郡九戸村の1市2町1村を担当しています。

このうち土木部の担当する久慈地域は、三陸沿岸の北端に位置し、面積は1,076.87km²で岩手県全体の約7%を占めています。

地勢は概ね3つに大別されます。西部は北上山地が南北に走り、急峻な山岳地を形成し、平地は極めて少なく、この山間を久慈川、長内川をはじめ中小の河川が太平洋に注いでおり、平庭高原、久慈溪流の久慈平庭県立自然公園があります。沿岸北部は起伏の緩やかな山岳丘陵地帯が広がり、林野、放牧地となっています。沿岸南部は海岸段丘が連なり、三陸復興国立公園の中でも最も雄大な自然美をなしています。

地質は主に古～中成層の火成岩類よりなっており、マンガン鉱床、石灰岩、耐火粘土など多様な鉱物資源が存在しています。また、河口付近には沖積層の分布がみられます。

本地域の大部分が海洋性気候の影響下にあり、夏季にはヤマセと呼ばれる冷涼湿潤な偏東風が発生し、冬期は比較的温暖で年間を通じて過ごし易い地域です。

また、ウニやアワビの海産物をはじめ久慈琥珀や大野木工品等は地域を代表する特産品として高い評価を得ています。反面、冷涼な気候のため農産物が育ちにくく、急峻な地形により平地が少なく、社会資本の整備や産業の育成など地域の発展には課題を数多く抱えている地域でもあります。

管内中心地の久慈市から県都盛岡市までは約110kmの距離であり、バスで約2時間40分、鉄道で約3時間10分要していましたが、二戸市経由の新幹線利用により約1時間30分で行くことができるようになりました。

また、東日本大震災津波以降整備が進められてきた三陸沿岸道路の完成により、久慈～八戸は約25分短縮し約40分、久慈～宮古は約50分短縮し約1時間となりました。

青森県八戸市とは約50kmの距離となっており、この方面への日常生活における買い物客が多く、県外とはいえ密接に関わっております。

管内の国県道は、直轄管理の国道45号及び県管理の国道281号、395号を主要幹線とし、主要地方道7路線、一般県道17路線の計27路線となっており、県が管理する道路の延長は約316.5kmです。

管内の河川は、二級水系久慈川、宇部川等10水系30河川があり、管理延長は約249.3kmとなっています。

海岸については、国土交通省所管の種市海岸大谷地地区海岸をはじめ19地区が指定されており、延長は約27.3kmとなっています。

砂防指定地は63箇所、約350ha。地滑り指定区域は6箇所、239ha。急傾斜地指定は15箇所となっています。

港湾施設は重要港湾の久慈港と地方港湾の八木港があります。久慈港には国家石油地下

備蓄基地があるほか、現在、直轄施工により湾口防波堤の整備が進められています。

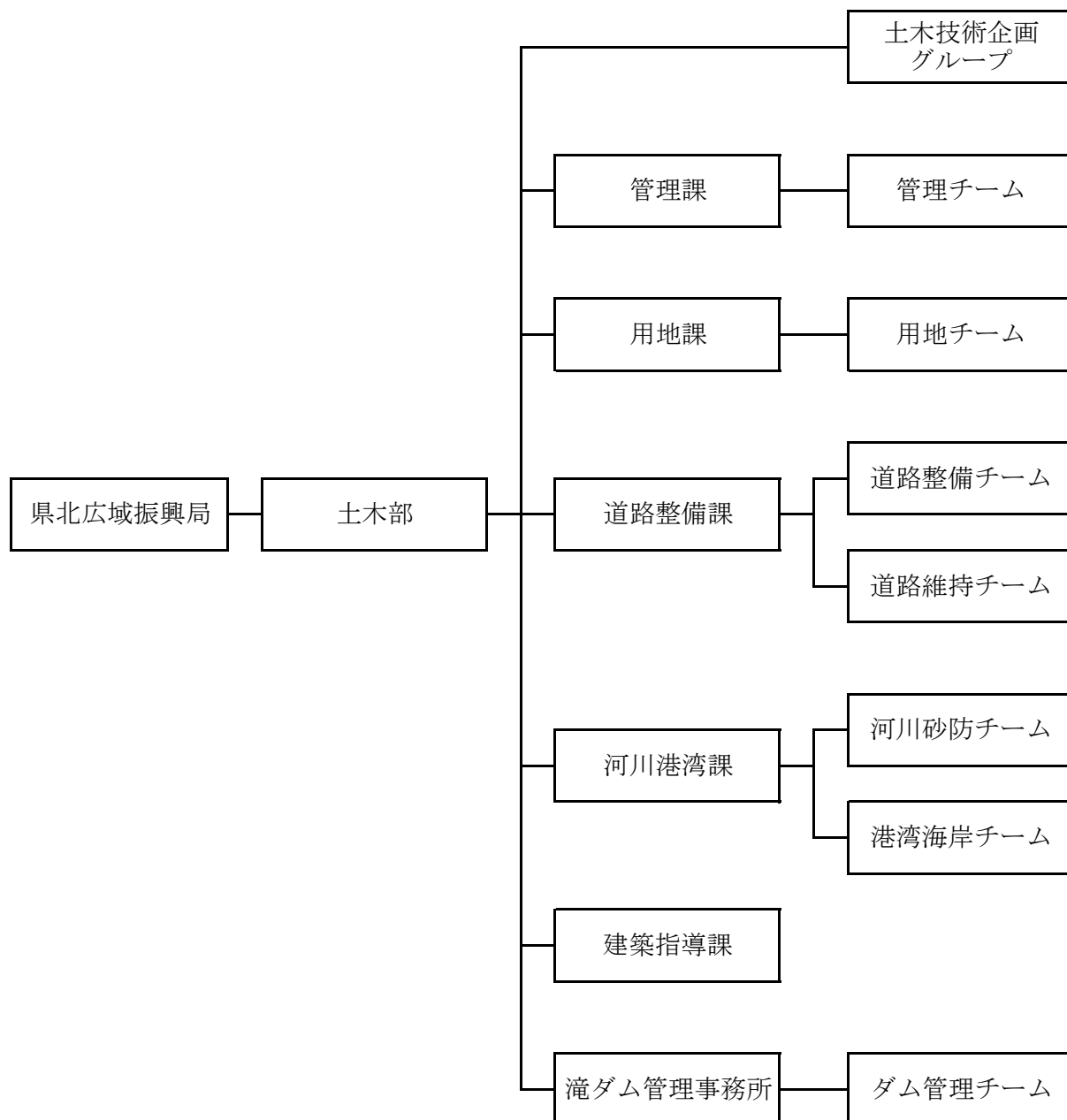
土木部では、久慈地域において、頻発化・激甚化する自然災害から住民の安全・安心を確保するため、治水施設や土砂災害施設の整備、維持管理や、産業経済活動や住民の日常生活を支える道路などの社会資本の整備、維持管理の取り組みを実施しているところです。

3 沿 革

大正 15 年 6 月	盛岡、花巻、一関、福岡、宮古、遠野の 6 市町村に土木管区が開設され、九戸郡は福岡土木管区の管轄下に置かれていた。
昭和 5 年	久慈管区が増設された。
昭和 17 年 7 月	地方事務所の発足に伴い九戸地方事務所土木課となる。
昭和 22 年 3 月	地方事務所より分離、久慈土木事務所となる。
昭和 30 年 10 月	県の機構改革により久慈建設事務所となる。
昭和 40 年 4 月	県の機構改革により久慈土木事務所となる。
昭和 43 年 4 月	久慈港務所開設。
昭和 57 年 10 月	滝ダム完成。
昭和 59 年 4 月	用地課を設置。
昭和 61 年 4 月	県の機構改革により漁港係は久慈地方振興局水産部に移る。
平成 9 年 4 月	県の機構改革により久慈地方振興局土木部となり、土木技術企画主査を設置。
平成 11 年 4 月	久慈港務所廃止。建築指導課を設置。
平成 13 年 4 月	県の機構改革により、経理事務及び入札事務が企画総務部に移管され、久慈地方振興局土木部総務課は同管理課となる。
平成 15 年 4 月	県の機構改革により、久慈地方振興局土木部管理課が同企画管理課に、同工務第一課が同道路都市課に、同工務第二課が同河川港湾課となる。
平成 16 年 4 月	県の機構改革により、係制からグループ、チーム、スタッフ制に移行する。
平成 18 年 4 月	久慈地方振興局土木部企画管理課が同管理課に、同道路都市課が同道路整備課となる。また、土木技術企画グループが企画管理課から部長直属となる。
平成 22 年 4 月	県の機構改革により県北広域振興局土木部となり、現在に至る。

4 行政組織の概要

(1) 組織図



(2) 課別事務分掌

課 名	チーム名	分 担 業 務
土木技術企画グループ		地域振興施策等の企画調整、局内他部・公所及び市町村との連絡調整、工事及び委託の検査、各種技術基準、市町村の技術指導、市町村補助事業の完了検査、建設リサイクル法関係業務、工事安全及び三圏域道路パトロール、盛土規制法関係業務
管理課	管理チーム	予算、決算、公有財産の管理、建設業の許可及び指導、建設業者経営事項審査、委託事業請負契約予定人の選定及び入札執行、県営建設工事請負資格審査、浄化槽工事業者登録事務及び指導、建設統計、境界査定、公用車運行管理、道路占用許可及び工事承認、道路認定及び区域変更、河川・海岸・急傾斜地及び砂防指定地内の占用及び許認可、港湾施設に関する許認可、港湾統計調査、市町村補助事業の事務指導、物品の出納管理、屋外広告物の許可、道路パトロール
用地課	用地チーム	用地取得補償事務、国土交通省所管国有財産管理、用地対策連絡会地方支部事務、国有林野の買受及び借受使用、取得用地の登記、公拡法に伴う土地売買届出
道路整備課	道路整備チーム	国道・県道の整備事業の企画・調査・設計・施工・監督
	道路維持チーム	国道・県道の維持修繕事業の企画・調査・設計・施工・監督、道路の災害復旧、道路パトロール、道路の維持管理、除雪、道路占用の技術審査、道路の苦情・相談、道路台帳整備
河川港湾課	河川砂防チーム	河川・砂防・急傾斜地事業の企画・施工・監督、河川・砂防・急傾斜地の占用・協議の技術審査、河川・砂防・急傾斜地の指定・台帳整備、水防・防災計画、気象・水位観測、河川等の災害復旧、河川の維持管理・パトロール
	港湾海岸チーム	港湾・海岸事業の企画・施工・監督、港湾・海岸占用等許可申請の技術審査、港湾台帳整備、港湾・海岸の災害復旧、港湾・海岸の維持管理・パトロール
建築指導課	建築指導スタッフ	建築物の確認・許可・検査、定期報告の審査 長期優良住宅建築等計画の認定 建築士・建築士事務所業務、宅地建物取引業務 バリアフリー法・人にやさしいまちづくり条例に関する業務 景観対策、公営住宅建設事業の指導監督、建築物の耐震改修促進業務
滝ダム管理事務所	ダム管理チーム	ダムの操作・管理、修繕事業の企画・施工・監督

土木技術企画グループ

◎地域振興施策等企画調整

いわて県民計画（2019～2028）に基づき、他圏域と連携しながら、地域特性を生かした振興を進めるため、広域振興局内の振興施策を策定するとともに局内他部との調整を行います。

◎建設リサイクルの推進

循環型社会の形成に向けて、建設リサイクル法に基づいた解体工事や資材の再資源化等に係る審査を行います。



建設リサイクルパトロールの状況

◎事業執行の企画調整

土地利用規制・希少野生動植物・埋蔵文化財・景観形成等の企画調整を行います。

◎県営建設工事等の検査

県営建設工事・委託業務等の完成検査を行います。

◎建設業に関する支援

建設業の働き方改革・事業の効率化を推進するため、担い手の確保・育成の支援、建設DXの推進・ICT活用の支援を行います。

◎管内市町村への技術的支援・審査

市町村からの照会や補助事業の執行等について、技術的支援及び審査を行います。

◎総合評価落札方式技術評価委員会等開催

透明性・公平性を確保しながら落札者選定における適切な技術提案評価とするため、総合評価落札方式技術評価委員会等を開催します。

◎工事安全パトロールの実施

建設業の労働災害の撲滅を目指し、広域振興局管内における市町村工事を含めた工事現場の安全パトロールを労働基準監督署や建設業協会久慈支部と合同で実施します。



工事安全パトロールの状況

◎宅地造成及び特定盛土等規制法に係る許可事務

法で定める基準を超える規模の盛土・切土を行う際に要する許可に係る事務や、盛土等の工事完了時の完了検査を行います。

管 理 課

◎道路・河川の占用許可

道路や河川における土地の占用や工作物の設置等に関する許可を行います。

◎港湾・海岸の使用・占用許可

港湾や海岸における施設の使用や工作物の設置等に関する許可を行います。

◎建設業の許可

建設業法により定められている一定額以上の金額の工事を請負うための許可を行います。

◎入札参加資格審査

県営建設工事の競争入札参加資格審査や建設関連業務の委託契約に係る競争入札参加資格審査を行います。

◎委託業務の契約

道路や河川の維持管理等委託業務の業者選定・入札・契約等を行います。

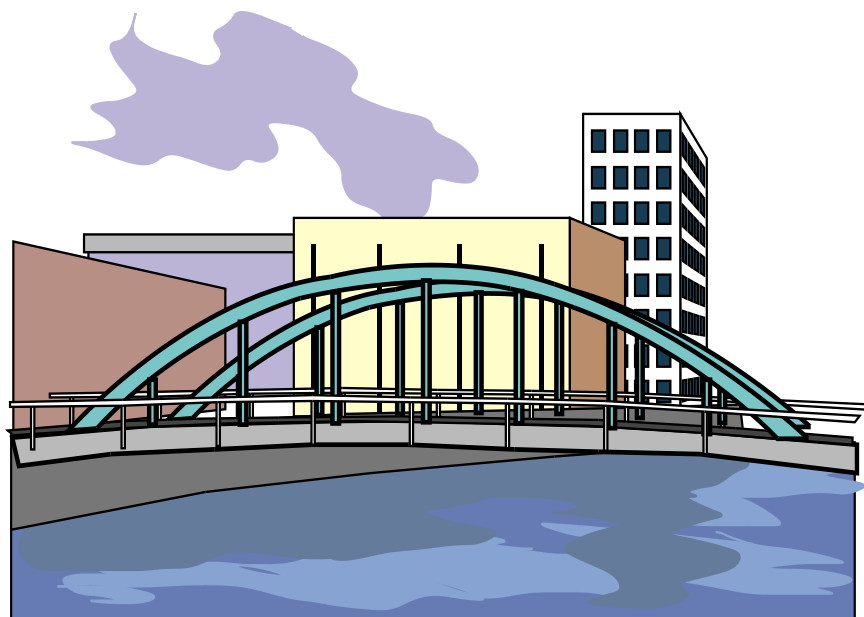
◎屋外広告物の許可

立看板・広告板等の広告物を屋外に設置し、常時又は一定の期間、公衆に表示する場合に許可を行います。



◎各種庶務業務

事務用品等の購入、電気料・電話料等の支払い等を行います。



用地課

用地課では、道路の拡幅工事や河川の改修工事等を行うために、新たに土地が必要となる場合、その土地の取得や用地内にある建物等を移転していただくための補償に関する事務を行っています。

【工事に着手するまでの用地補償の標準的な流れ】

事業計画の策定



事業箇所は、緊急性などの優先度を総合的に判断して決定します。

事業計画などの説明



皆様に事業計画をご説明します。また、皆様のご要望もお聞きします。併せて、土地への立入りをご了解いただきます。

土地建物などの測量・調査



皆様からお譲りいただく土地や移転していただく建物等、皆様の立会いのもとに測量・調査します。

契約の締結



土地売買契約及び物件移転補償契約を締結します。

補償金額の説明



算定した補償金及び建物移転の考え方等について、ご理解いただけるよう説明します。

補償金額の算定



測量・調査の結果に基づき、補償金を算定します。補償金は、補償基準により、適正かつ公平に算定します。

建物などの移転 土地の引渡し、登記



建物などを移転し、土地の引渡しを、していただきます。お譲りいただいた土地の登記は、県が行います。

補償金の支払い



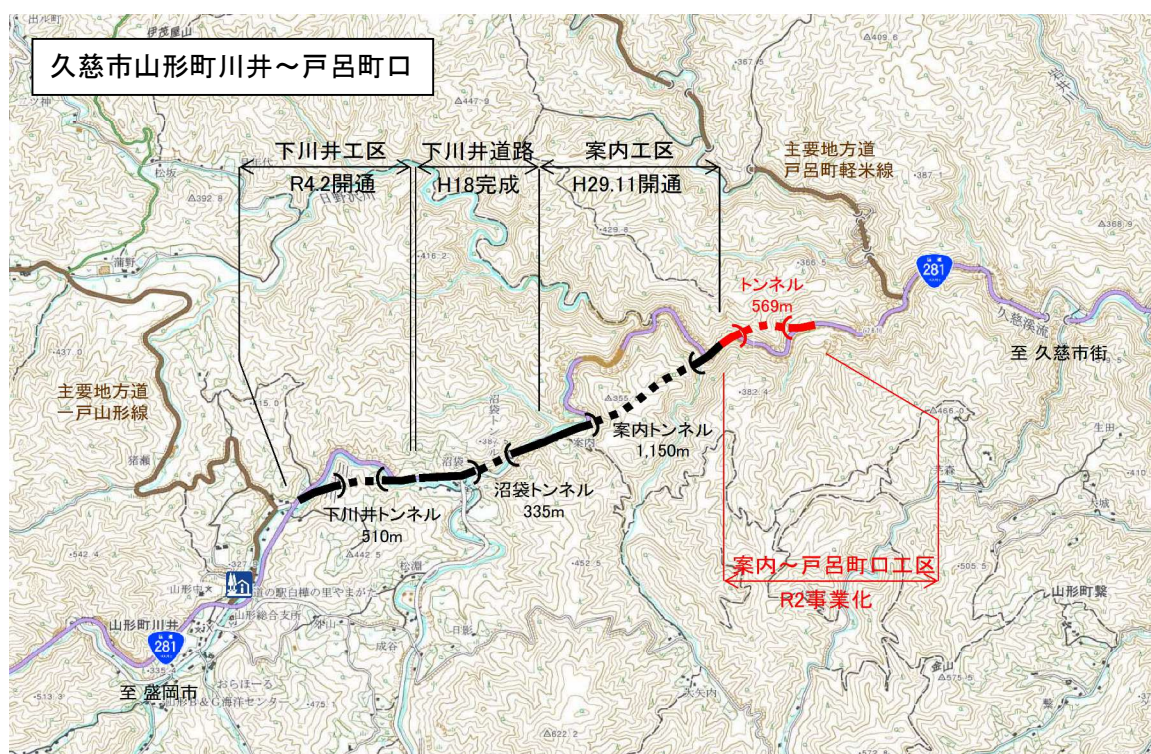
建物などを移転し、土地の引渡しを受け、所有権移転登記した後、補償金を支払います。

道 路 整 備 課

県が管理する国道や県道において、安全・安心な道路とするため急カーブの解消等に向けた改良・改築整備を推進するとともに、道路防災施設、歩道等の整備、道路施設の維持管理、冬期間の交通確保等の業務を行っています。

産業振興や交流を支える道路整備*****

物流の効率化など生産性向上による産業振興を支援するため、港湾と内陸部を結ぶ道路や都市間を結ぶ道路、県内各地を周遊する観光客の利便性向上を図るため圏域内外の交流を支える道路の整備に取り組んでいます。



起点側施工状況 (R8.5)



終点側施工状況 (R8.5)



一般国道 281 号 案内〜戸呂町口工区

緊急輸送道路の防災機能の強化の推進*****

災害発生時においても、救急搬送等に対して確実な通行を確保するため、緊急輸送道路に指定されている路線の橋りょうの耐震化や落石等に対して通行車両の安全を確保するための道路防災施設の整備等に取り組んでいます。



（落石対策）主要地方道岩泉平井賀普代線明神地区 【左】着工前 【右】対策後（R5 完成）



（橋梁耐震補強）主要地方道久慈岩泉線遠川橋 【左】着工前 【右】落橋防止構造設置後（R7 完成）

日常生活を支える安全な道づくりの推進*****

通学中の児童や高齢者の安全を確保するため、通学路等への歩道設置や交通安全施設等の整備を進めるとともに、傷んだ歩道等の補修に取り組んでいます。



主要地方道八戸大野線 向田地区 【左】着工前 【右】歩道設置後（R5 完成）



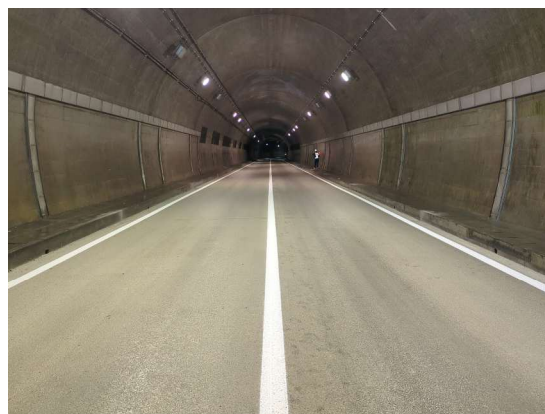
一般国道 281 号 生出町地区 【左】歩道整備箇所（R7～） 【右】歩道補修箇所（R7～）

社会資本の適切な維持管理の推進*****

- 社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、橋梁やトンネルなど、5年に1度定期的な点検を実施し、土木施設の効果的・計画的な補修等の維持管理に取り組んでいます。



橋梁補修 主要地方道軽米種市線下大沢7の橋【左】着工前 【右】支承補修後（R7完成）



トンネル補修 主要地方道戸呂町軽米線戸呂町第3トンネル【左】着工前 【右】補修後（R7完成）

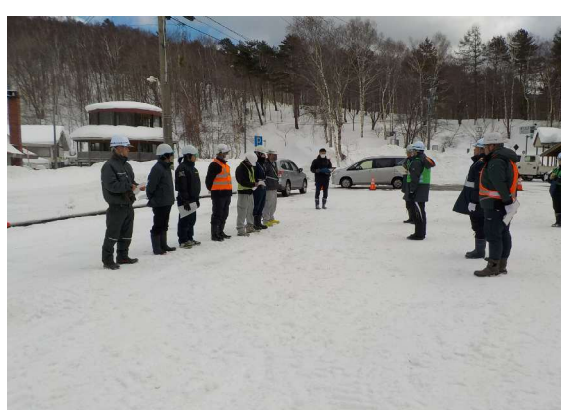
○ 日常生活や冬期間の安全で円滑な道路通行を確保するため、道路パトロールや道路除雪による道路の適正な維持管理に取り組んでいます。



道路パトロール 【左】支障木撤去作業 【右】路面応急処理作業



除雪作業【左】除雪トラック 【右】ロータリ除雪車



若手オペレータ育成のための除雪講習会【左】ドーザの講習 【右】講師による講評

- 地域の道路への愛護意識の普及、浸透を図るため、草刈や清掃、歩道除雪の維持管理について、住民団体の活動に対する支援等を行い、県民との協働に取り組んでいます。



住民協働による道路の草刈 【左】作業中 【右】作業後



久喜小学校や地域の方々との協働によるガードレール清掃 【左】作業状況 【右】清掃後

- 将来の土木技術者の担い手確保・育成のため、県立久慈工業高校（R7 より久慈翔北高校）土木系学科の生徒との協働による橋梁点検やインフラメンテナンス作業体験を実施しました。



久慈工業高校との協働橋梁点検



久慈工業高校橋梁メンテナンス作業体験

河 川 港 湾 課

頻発化・激甚化する洪水や土砂災害等による自然災害から住民の生命・財産を守るため、治水施設及び土砂災害対策施設の整備や、土砂災害警戒区域の指定、防災意識の向上に関する啓発活動等の業務を行っています。

洪水対策の推進*****

これまでの被害状況を踏まえた河川改修や河道掘削を行い、洪水災害に対する安全度の向上に取り組んでいます。



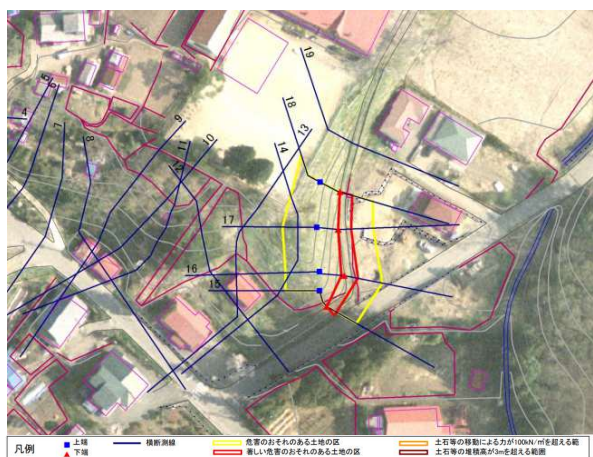
【河道掘削】



土砂災害対策の推進*****

土砂災害の防止として、砂防ダムや溪流保全工による土石流の防止、急斜面の崩壊防止対策を行い、人々の生命と財産を守ります。

また、土砂災害のおそれのある区域について危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を実施しています。



土砂災害警戒区域等の指定



土砂災害危険箇所パトロール

海岸保全施設の防災機能強化の推進*****

地震に対する防御機能の強化を図るため、海岸保全施設の耐震化対策に取り組むとともに、老朽化対策も実施しています。



太田名部 防潮堤

減災のためのソフト施策の推進*****

住民の防災意識の向上や災害時の的確な行動を確保するための啓発活動に取り組んでいます。



【津波防災出前講座】
(出前授業)



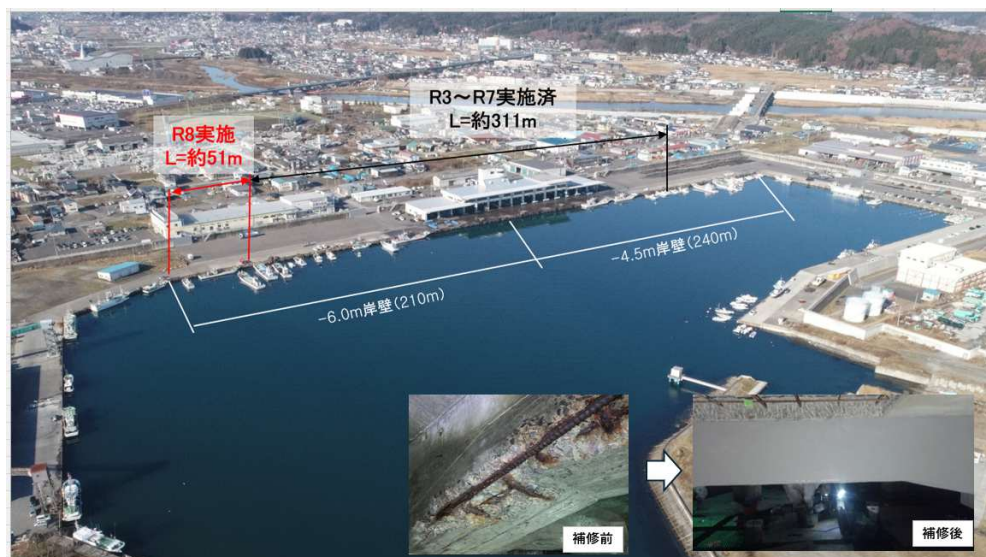
【津波防災出前講座】
(施設見学)



【砂防出前講座】

社会資本の適正な維持管理の推進*****

社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、土木施設の効果的・計画的な維持管理に取り組んでいます。



久慈港諏訪下地区 岸壁補修

建 築 指 導 課

建築物の防災及び違反防止の取組、建築士事務所及び宅地建物取引業者の立入検査、建築基準法の確認検査、長期優良住宅の認定等を行っています。

また、「ひとにやさしいまちづくり」や「景観づくり」について、条例等の規定による届出等の審査も行っています。

◎建築物の防災・違反防止

不特定かつ多数の方が利用する建築物について、定期的に立入調査を行い、安全、防火及び避難の観点の取組みを行っています。また、違反建築パトロールを実施し、違反防止に努めています。

◎建築士事務所の立入検査

建築物の設計又は工事監理を行う建築士が所属する建築士事務所について、その業務の適正をはかり、建築物の質の向上に寄与させるため、必要に応じて報告を求め、又は建築士事務所に立ち入り、検査を実施しています。

◎宅地建物取引業者の立入検査

宅地建物取引業者に対して、その業務の適正な運営を確保するため、必要に応じて報告を求め、又はその事務所に立ち入り、検査を実施しています。

◎建築物の確認検査

建築物を建築しようとする場合の申請について、建築基準法の基準に適合しているかどうかを確認し、その工事が完了したときは検査をしています。

◎長期優良住宅の認定

長期にわたり良好な状態で使用するための

措置が講じられた優良な住宅を認定しています。この認定を受けた住宅については、税の特例措置、補助金、住宅ローンの金利引下げ等を受けることができます。

◎ひとにやさしいまちづくり

不特定かつ多数の方が利用し、すべての人が安全かつ円滑に利用できるよう整備を促進することが特に必要な建築物の新築、増築等について、ひとにやさしいまちづくり条例の基準に適合するよう建築主と協議をしています。



◎景観づくり

良好な景観の形成を促進するため、建築物等の届出について、岩手景観計画の基準に適合しているかどうかを審査しています。

滝ダム管理事務所

滝ダム管理事務所では、ダム施設の維持・管理、洪水時等における貯留水の放流操作を行っています。

【滝ダムの概要】

滝ダムは、長内川総合開発事業の一環として、洪水調節・流水の正常な機能の維持・発電を目的として築造された多目的ダムです。

長内川は久慈川水系中最大の支川で、その源を北上山地の遠島山（標高 1,262.7m）に発し、川又川や久慈市街地で久慈川に合流し、太平洋に注いでいる、流域面積 189.0 km²、流路延長 29.0km の河川です。

滝ダムは、計画高水流量 1,200 m³/秒のうち 820 m³/秒（平成 20 年度から緊急時以外流下能力見合いで 250 m³/秒）の放流を行いダム下流の水害を少なくする他、長内川沿川の既得用水、維持流量の確保と発電を行うもので、昭和 47 年度建設事業採択された後、昭和 57 年までの 11 年の歳月と総事業費 146 億円で築造されたものです。



ダムの形式：重力式コンクリートダム

有効貯水容量：600万m³

ダムの長さ：187m

ダムの高さ：70m

常用洪水吐：コンジットゲート 3門

非常用洪水吐：クレストゲート 2門

利水吐：ジェットフロートゲート 2門



洪水調節等による治水効果*****

滝ダムは、令和6年8月に発生した台風第5号において、事前放流及び緊急放流による洪水調節により治水効果を発揮し、沿川住民の安全安心を確保しました。

◎気象概況

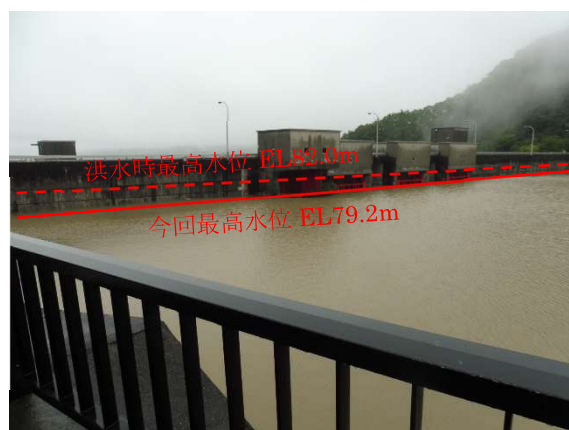
- ・ 大船渡市付近に上陸した台風の影響により、滝ダムの流域平均雨量は、降り始めからの累加雨量で393mmを観測しました（8月平均雨量の1.5倍）。
- ・ ダム上流の下戸鎖観測所では、48時間で482mmと観測史上最大を記録しました。

◎治水効果

- ・ 滝ダムでは、台風による豪雨に備え貯水位を低下させることとし、予備放流により600万 m^3 、さらに事前放流により90万 m^3 の貯水容量を確保したうえで、洪水調節を実施しました。
- ・ 計画を上回る大雨により流入量が急激に増加し、貯水位が緊急放流判断水位に達したため、緊急放流（異常洪水時防災操作）に移行した。その後、降雨が小康状態となり流入量が減少したことから、河川水位の低減を図るため、放流量を抑制し特別防災操作を実施しました。
- ・ ダム操作による治水効果としては、洪水調節により洪水ピーク時の375 m^3/s を295 m^3/s に低減させ、80 m^3/s （約20%）をダムに貯留したことで、下流河川の水位を低減し洪水による浸水被害を防止しました。
- ・ また、ピーク水位の発生時刻を約5時間遅らせ、水防活動や避難行動に要する時間を確保しました。

◎水位低減効果

- ・ ダム下流の長内橋地点（治水基準点）では、ダムの予備放流、事前放流及び洪水調節により35cmの水位低減効果があったと推定され、河川水位を氾濫開始相当水位（4.38m）より5cm低い水位に抑えることができました。
- ・ ダムが無かった場合、氾濫開始相当水位を超過し、沿川では洪水による浸水被害が発生していたと推定されます。
- ・ また、事前放流未実施の場合も同様に、氾濫開始相当水位を超過していたものと推定されます。



減災のためのソフト施策の推進（ダムに対する地域住民の理解醸成、意識啓発）*****

住民の防災意識の向上や災害時の的確な行動を確保するための啓発活動に取り組んでいます。

地域に親しまれるダムを目指し「おもてなしの心」で、ダム見学の案内や「森と湖に親しむ旬間」のイベントなどを行っています。



【久慈管内小学生の社会科学習見学】



【ダム施設の一般公開】

社会資本の適正な維持管理の推進*****

社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、ダム施設の効果的・計画的な維持管理に取り組んでいます。



令和 8 年度 岩手県県北広域振興局土木部 業務概要

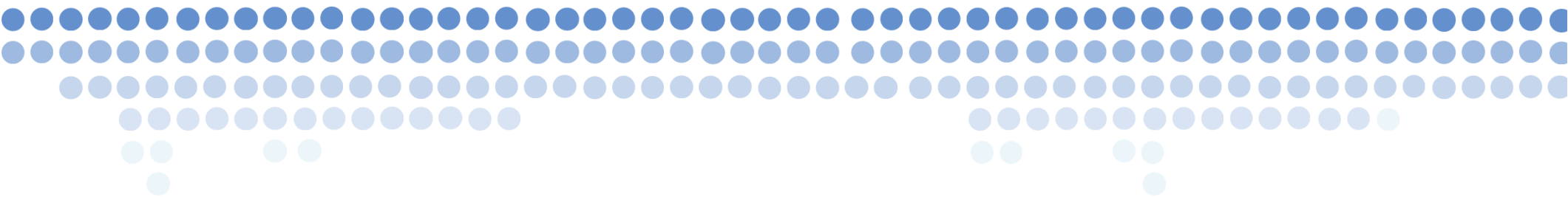
表紙の写真 久慈川水系長内川・小屋畑川（久慈市）

編集・発行 岩手県県北広域振興局土木部

〒028-8042 久慈市八日町 1 丁目 1 番地

電話 0194-53-4990

ホームページアドレス : <https://www.pref.iwate.jp/kenpoku/doboku/index.html>



県北広域振興局土木部の主要事業

令和8年9月2日
県北広域振興局土木部



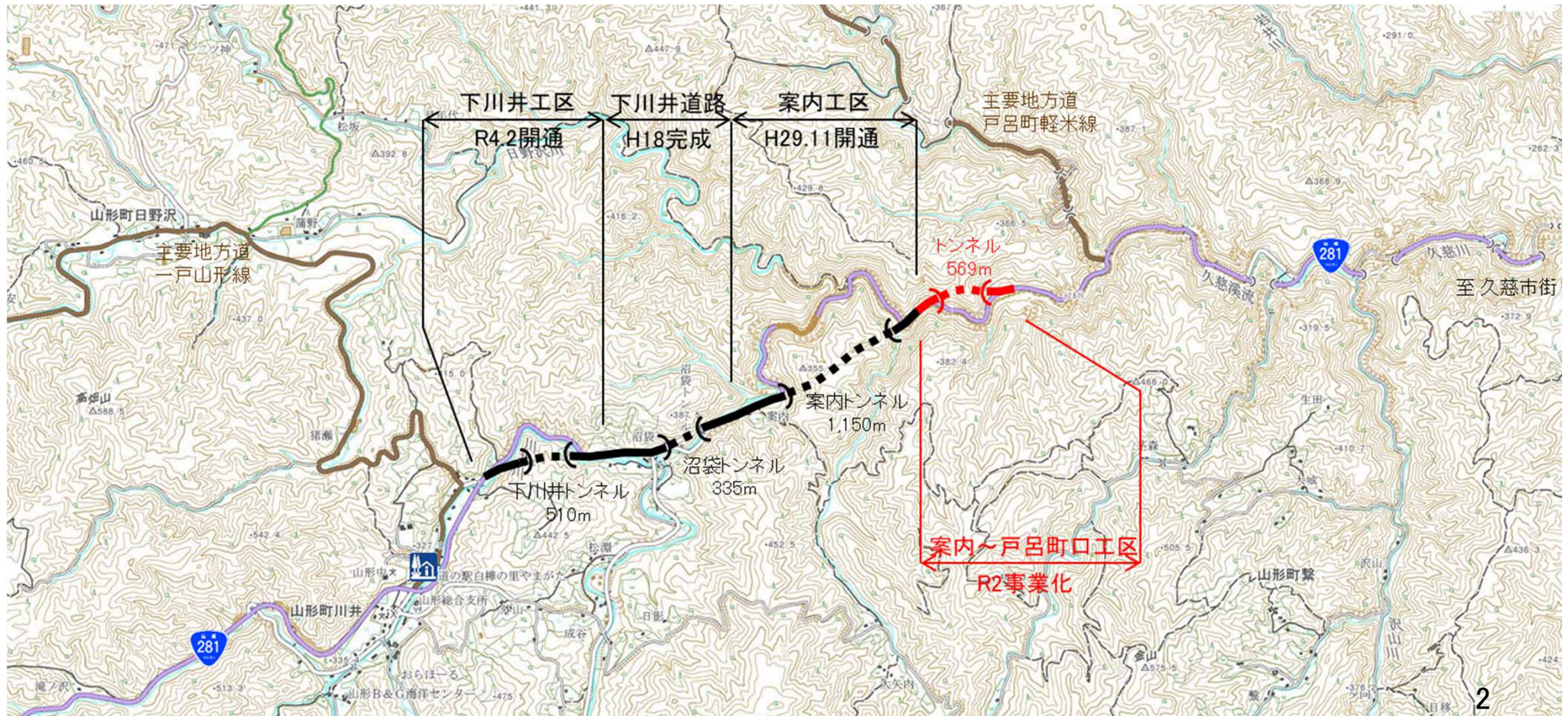
【道路整備】一般国道281号案内～戸呂町口地区（久慈市）

事業期間 令和2年度～

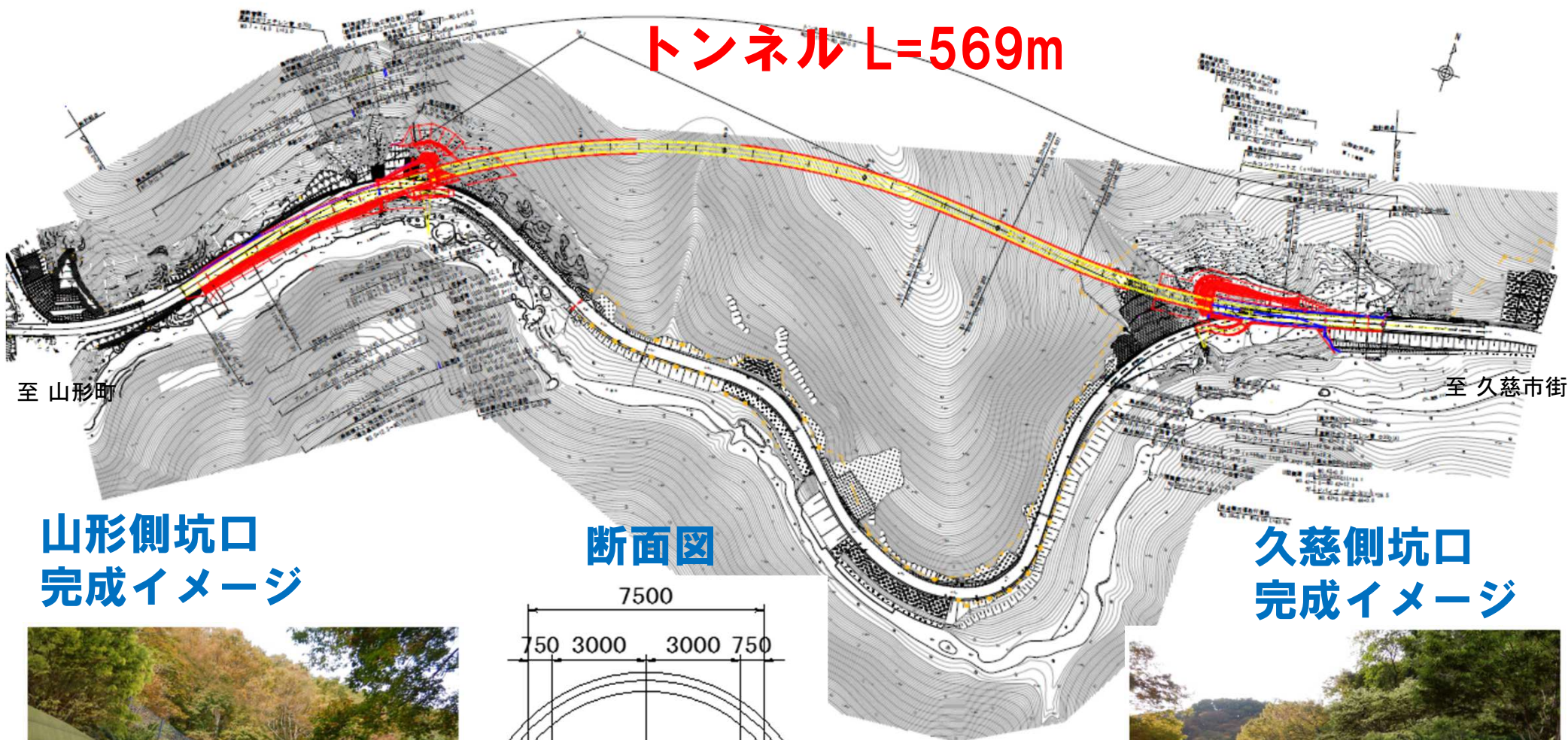
全体計画 道路改築L=1,000m 全体事業費 3,416百万円

令和7年度迄 測量・設計、用地測量、用地取得、
道路改良工事（トンネル前後部）

令和8年度 トンネル築造工事



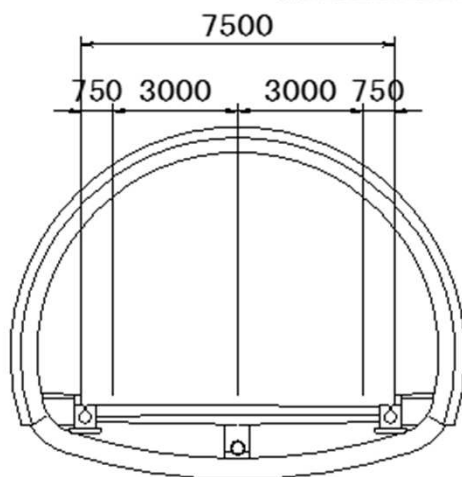
【道路整備】一般国道281号案内～戸呂町口地区（久慈市）



山形側坑口
完成イメージ



断面図



久慈側坑口
完成イメージ



【道路整備】一般国道395号阿子木地区（久慈市・洋野町）

事業期間 令和3年度～

全体計画 道路改築L=2,290m 全体事業費 1,100百万円

令和7年度迄 測量・設計、用地取得、道路改良工事

令和8年度 道路改良工事

L=2,290m W=6.0 (9.5) m

急カーブ、急勾配の解消



【道路整備】通学路（小学校）における歩道設置

- ・ R 4 （国） 281号大川目地区（久慈市）が完了
- ・ R 5 （主） 八戸大野線向田地区（洋野町）が完了
- ・ R 6 （国） 281号生出町地区（久慈市）を事業化
- ・ R 7 （国） 281号生出町地区の用地測量、用地所得を実施
- ・ R 8 （国） 281号生出町地区の用地取得、工事着手予定
（全体計画200mのうち西側80mを着手予定）



【道路整備】一般国道281号荒町地区電線共同溝整備工事（久慈市）

事業期間	令和5年度～
全体計画	整備延長 L = 600m（道路延長 L = 300m）
全体事業費	540百万円
事業概要	電線共同溝の整備による無電柱化
R7事業	電線共同溝工事着手（街路樹伐採、家屋調査）
R8事業	電線共同溝工事継続（植樹柵撤去、水道管移設、旧水道管石綿管撤去）



【道路整備】一般国道281号川井～大川目地区（久慈市）

事業期間 令和4年度～

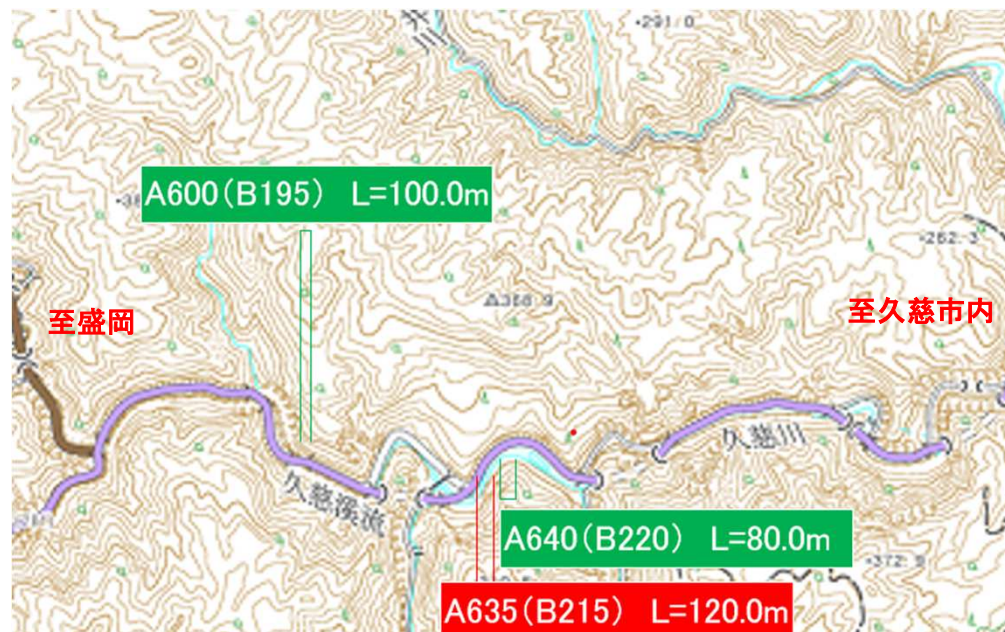
全体計画 整備延長 L=300m（A635、B215、A640、A600）

全体事業費 650百万円

事業概要 落石対策

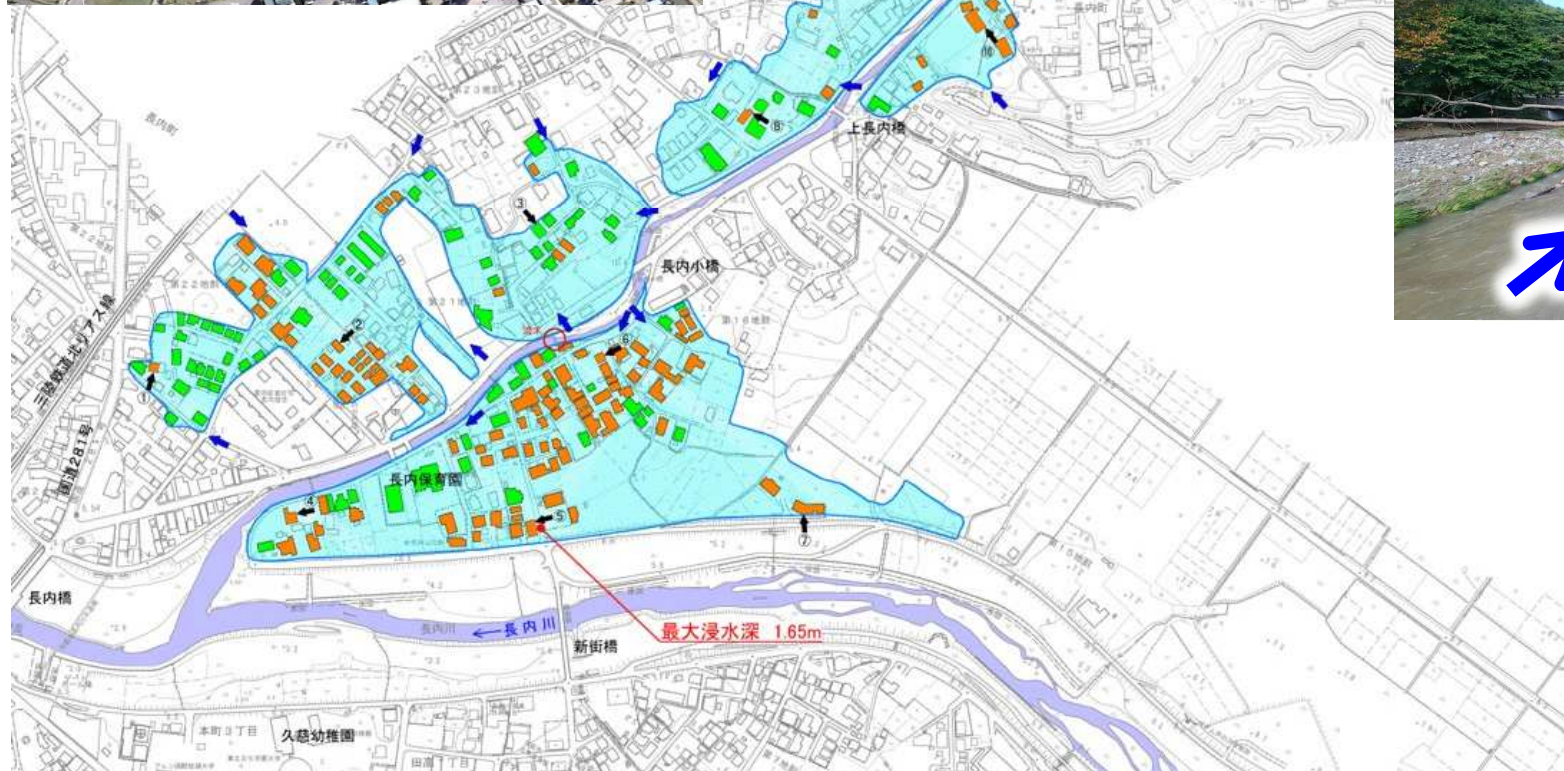
R4～R7事業 詳細設計、保安林解除、用地測量、用地取得

R8事業 用地取得、保安林解除、一部工事着手予定（A635、B215）



【河川改修】二級河川小屋畑川河川改修事業（久慈市）

浸水実績・被害状況（令和元年台風第19号）



被災時の状況(小屋畑橋)



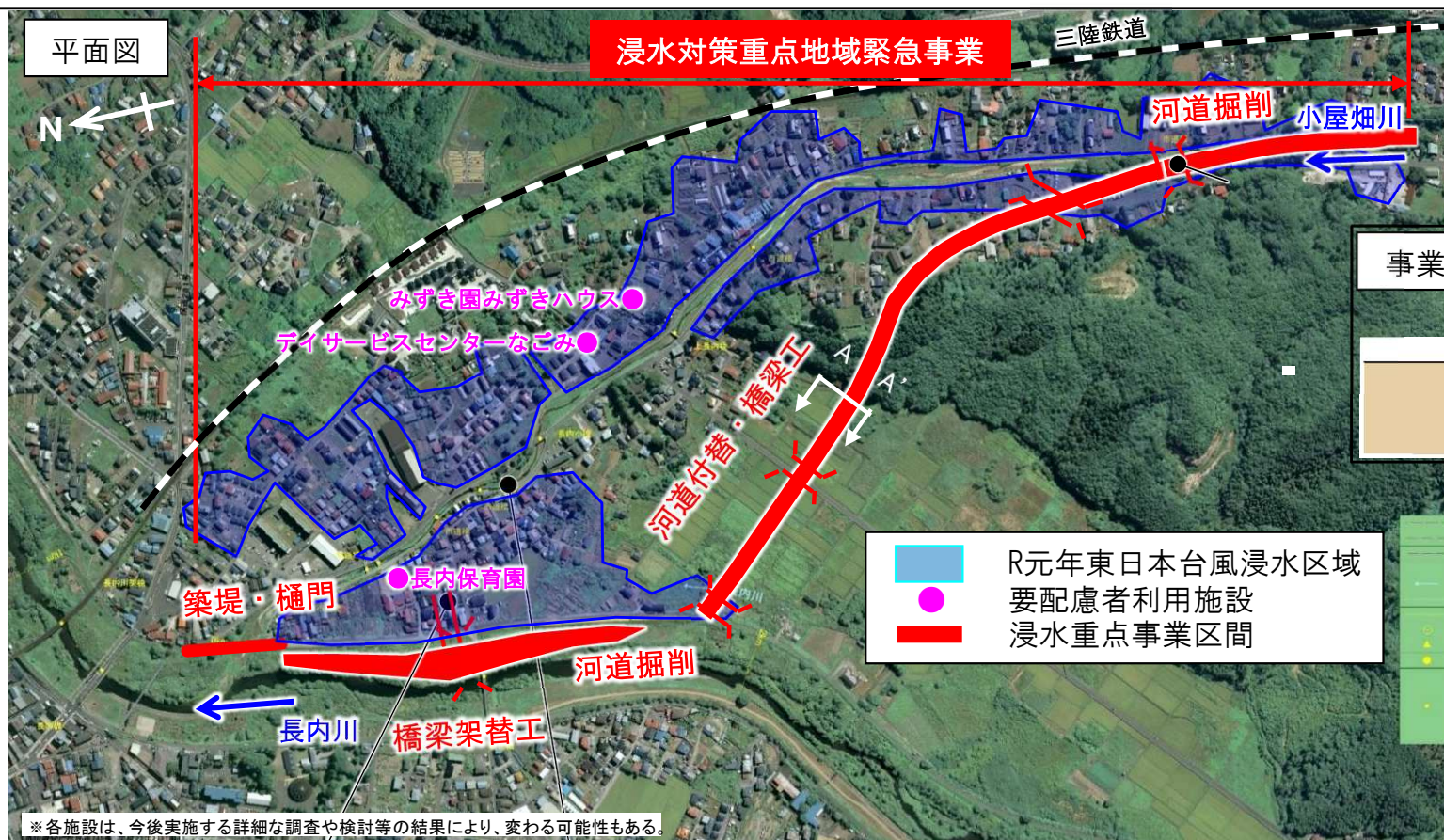
凡 例		備 考
	浸水範囲	21.4 ha
	内水・外水被害	233 戸
	内水被害	9 戸
	外水被害	224 戸
	床上浸水	123 戸
	床下浸水	110 戸
	痕跡写真ポイント	
	流入出ポイント	

※ 周辺住民からのヒアリング等により確認

令和元年の台風第19号では、このような浸水被害が発生しました

【河川改修】二級河川小屋畑川河川改修事業（久慈市）

岩手県では浸水被害の軽減を図ることを目的として、浸水対策重点地域緊急事業により、令和元年の台風第19号と同規模の流量が流れるような河川に改修していきます。



【事業概要】

事業内容：河道付替、橋梁、河道掘削、樋門 等

全体事業費：約70億円

R8事業：付替河道工事、橋梁上部下部工工事、旧橋撤去工事

【河川改修】二級河川久慈川河川改修事業(久慈市)

地理院地図
GSI Maps



県政記者クラブ 各位

県土整備部 道路環境課

高校生を対象とした橋梁協働点検及び工事現場見学会を開催します！

岩手県では、インフラメンテナンスへの興味・関心の促進と土木技術者の担い手の確保・育成を目的として、県内の工業系高校5校を対象とした高校生による橋梁の協働点検及び工事現場見学会を開催します。

1 高校生との協働による橋梁点検

高校	日時	点検橋梁
県立盛岡工業高校	9月14日(月)午前	新天神橋(紫波町)
県立花巻農業高校	9月18日(金)午前	長内橋(花巻市)
県立久慈翔北高校	10月28日(水)午前	長内橋(久慈市)
県立一関工業高校	11月16日(月)午前	薄衣高架橋(一関市)
県立黒沢尻工業高校	11月19日(木)午前	瀬畑大橋(北上市)

2 インフラメンテナンス工事現場見学会

高校	日時	見学現場
県立盛岡工業高校	9月9日(水)午前	紫波橋補修工事(紫波町)
県立一関工業高校	9月9日(水)午前	中里橋補強工事(一関市)
県立久慈翔北高校	9月30日(水)午前	大川目地区のり面対策工事(久慈市) 下平トンネル築造工事(久慈市)
県立黒沢尻工業高校	10月16日(金)午後	川尻橋補修工事(西和賀町)

3 取材申込

取材については、「別紙(取材申込書)」により各々の開催日の**5日前までに申込み**をお願いします。

現場見学会では、ヘルメットを着用していただきますので、持参をお願いします。

4 参考

昨年度までの取組は以下リンク先より確認できます。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/ijikanri/1041359/1041372/index.html>

【問い合わせ先】

	県土整備部 道路環境課
	主任主査 成田、主任 杉浦
	TEL : 019-629-5879 (内線 5879)
	FAX : 019-629-9124

県土整備部キャッチコピー

令和8年9月

行事予定表

日	曜	行 事	場 所	会 場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
7/1 ～ 9/30	水 ～ 水	北限の海女素潜り実演 (7.8月は土日祝、9月は日曜のみ、実演実施は要確認)	久慈市	小袖海女センター		小袖海女センター	54-2261
3	木	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
9/5 ～ 9/6	土 ～ 日	第64回三船十段杯争奪柔道大会柔道教室 第64回三船十段杯争奪柔道大会	久慈市	久慈市マリニアリーナ Suponsored by 宮城建設		久慈市教育委員会生涯学習課	52-2156
6	日	ビーチヨガin普代浜園地キラウミ	普代村	普代浜園地キラウミ南浜		普代村観光協会事務局	35-2115
6	日	平庭闘牛しらかば場所	久慈市	平庭闘牛場		久慈市役所山形総合支所産業建設課 (いわて平庭高原闘牛会事務局)	72-2129
6	日	平庭市大感謝祭	久慈市	平庭中継基地駐車場		久慈市役所山形総合支所産業建設課 (いわて平庭高原闘牛会事務局)	72-2129
6	日	第54回平庭高原俳句大会	久慈市	平庭高原		山形市民センター	72-3711
6	日	音楽の贈り物Vol.7「2つのロマンティックを味わい尽くす！」	久慈市	十文字チキンアンバーホール (久慈市文化会館)		久慈市教育委員会文化課	52-2700
8	火	若年者ものづくり競技大会表彰状伝達式	二戸市	岩手県立二戸高等技術専門学校		岩手県立二戸高等技術専門学校	0195-23-2227
8	火	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
9	水	津波防災教育講座(出前授業)	久慈市	岩手県立久慈翔北高等学校		土木部河川港湾課	66-9689
11	金	食の匠による高校生への郷土料理伝承会(第2回)	久慈市	岩手県立久慈翔北高等学校		久慈農業改良普及センター地域指導課	53-4989
13	日	久慈平岳秋まつり	洋野町	久慈平岳山頂広場		洋野町地域振興課(大野庁舎)	77-2111
13	日	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
15	火	第1回久慈構想地区地域医療構想調整会議	久慈市	久慈地区合同庁舎6階 大会議室	○	保健福祉環境部企画管理課	53-4987
16	水	津波防災教育講座(見学)	野田村	野田水門		土木部河川港湾課	66-9689
17 ～ 20	木 ～ 日	久慈秋まつり	久慈市	久慈市中心市街地ほか	◎	久慈秋まつり実行委員会 (久慈市観光物産協会)	66-9200
18	金	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
20	日	ビーチヨガin普代浜園地キラウミ	普代村	普代浜園地キラウミ南浜		普代村観光協会事務局	35-2115
23	水	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
25 ～ 27	金 ～ 日	ふだいまつり2026	普代村	メイン会場:道の駅青の国ふだい		ふだいまつり実行委員会 (普代村農林商工課)	35-2115
26	土	山形村短角牛BBQまつりin山形	久慈市	ガタゴン広場(道の駅白樺の里やまがた付近)		久慈市役所山形総合支所産業建設課 (山形村短角牛BBQまつり実行委員会)	72-2129
26	土	野田村プチよ市	野田村	ねま～る		野田村商工会	78-2012
27	日	第11回久慈あまちゃんマラソン大会	久慈市	久慈市漁協周辺	◎	あまちゃんマラソン大会実行委員会 (久慈市教育委員会生涯学習課)	52-2156
28	月	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
29	火	津波防災教育講座(見学)	洋野町	川尻水門		土木部河川港湾課	66-9689
30	水	道路インフラメンテナンス現場見学会	久慈市	一般国道281号 ①(仮)下平トンネル ②大川目地区のり面		土木部道路整備課	66-9688

令和8年10月前半

日	曜	行 事	場 所	会 場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
3	土	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
4	日	第18回久慈地方木工工作コンクール表彰式	久慈市	アンバーホール	○	林務部林業振興課	53-4984
8	木	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123
13	火	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問合せ	久慈市	市日通り		久慈市商工観光課	52-2123

◎局長出席 ☆副局長出席 ○部室長等出席

※1 イベント等について、天候等の影響で中止となる場合がございますので、随時開催状況を確認くださいますようお願いいたします。

※2 県出席者について、諸般の事業により変更となる場合がありますので、随時確認くださいますようお願いいたします。